



# ほんのむし

2021年度 身延中図書館 発行日 2022. 1. 28

## 蔵書点検のお知らせ

蔵書点検とは・・・

身延中学校にある約12,000冊の本がすべてそろっているか、破損・汚損している本はないか、本のデータに間違いがないかチェックする作業です。

期間中、図書館は基本的に閉館になり、貸出・返却・休み時間の利用・授業での利用ができません。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

冬休み前に借りた本や、それ以前に借りた本をまだ持っている人は大至急。返却してください。

### 今後のスケジュール

1月31日(月)～2月4日(金) 蔵書点検前の特別貸出期間(10冊まで)

2月 7日(月)～14日(月) **蔵書点検** 図書館には入れません。

2月15日(火) 貸出再開(予定)

もうすぐ節分・・・さて、どうして節分に「豆」をまくのでしょうか。諸説ありますが1/27の山梨日日新聞「こぴっと」によると「豆」と「魔滅(まめ)」の語呂合わせとの説もあるそうです。

今年も新型コロナの影響で身延山久遠寺の「豆まき」は中止だそうです。ちなみに久遠寺では豆をまくときに「ふくはうち」しか言いません。本当の「春」が来るように2月3日の夜には家族で「豆まき」をするのもいいですね!



栗くん節分バージョン(イラスト 2B 遠藤 爽夏さん)



## 第4回全校一斉読書 2022.1.21

～これが私の推し本 読書紹介をしよう～

今年度最後の全校一斉読書は前半は読書タイム、後半はプレゼンタイムの2部制で行いました。プレゼンタイムは班ごとに分かれて、一人1分半という制限時間のなかで、自分の「押し本」「勝負本」を班の仲間に伝えます。1分半は長かったかな?短かったかな?身を乗り出して聴く人、質問も飛び出すなど、どのクラスからも和気あいあいとした空気が伝わってきました。友だちの紹介から本の世界がますます広がることを願います。



### Nさん(1B)の推し本 紹介

「紛争地の看護師」白川優子著(小学館)

紛争地で働く白川さんは2010年から「国境なき医師団」という集団に参加した。シリア・イエメン・イラク・南スーダン・パレスチナなどの国に行って患者さんを助けてあげた。優子さんは紛争地の生活の中で体重が10kgも減った。私だったら助けたい気持ちもあるけれど、すぐに「行く!」とは決断できないと思います。私は紛争地に行くってすごく勇気が必要だと思いました。ぜひ読んでみてください。



# 第6回ビブリオバトル(知的書評合戦) in 身延中



2022. 1. 24開催(主催:3年生図書委員)

～人を通して本を知る 本を通して人を知る～

ビブリオバトルとは、子どもから大人までできる本のコミュニケーションゲームです。

「バトラー」と呼ばれる発表参加者が、それぞれ「読んで面白かった」「誰かにすすめたい」本を1冊用意し、聴衆に本の紹介を行います。用意するのは「本」と「ビブリオタイマー」のみ。山梨県はこのビブリオバトルがとても盛んで、多くの学校、公共図書館で大会が開催されています。「全国高等学校ビブリオバトル大会2016」で、山梨県立北杜高校の男子生徒が優勝したことも話題になりました。

公式ルールによると、プレゼンタイムは本来「5分」ですが今回は特別に**身延中ルール**として「3分」という制限時間の中で、身延中を代表する「**本好き**」で「**個性豊か**」な4名が「**推し本**」を引っさげてその本への思いを熱く語りました。昨年に引き続き感染予防の観点から、放送と録画視聴という形式で行いました。(録画は冬休み中に行いました。)



全校生徒・先生方の投票の結果、3Aの望月虎太郎さんが発表した「**なぜか、いつも夫は他人ゴト**」(ザビエル・著)がもっとも読みたい「**チャンプ本**」に選ばれました。

さっそく、1、2年生からは「3年生になったらチャレンジしてみたい。」という声が上がっています。頼もしいですね!

来年は新型コロナウイルスが終息し、オープンスペースにて「ライブ」で行い、バトラーも聞く側も臨場感を味わいながらドキドキの体験ができることを願います。

受験期にもかかわらず、バトラーをひきうけてくれた4名、そして企画運営の3年生図書委員、本当にお疲れ様!この経験は、きっとこれからの人生で生きるでしょう。



第1バトラー 3B 小原 誠悟さん

書名「**おひさまへんにブルー**」 花形みつる・著 (国土社)

学級文庫で出会った1冊!不登校の少年を救った不思議な少年オйкаワくんを中心に繰り広げられる物語。登場人物の心情がリアルに描かれていて読書が苦手な人でも物語に引きつけられることまちがいない!



第2バトラー 3B 山本 零士さん

書名「**カラフル**」 森 絵都・著 (理論社)

死んだはずの魂が「抽選」にあたり、もう一度人生をやり直せるチャンスに恵まれた…。しかしやり直せるはずの人生は多くのハプニングを抱えていた。人生は一色ではない。いろんな面から見て、いろんな色に変えていくことができる、と学んだ1冊。



第3バトラー 3A 近藤 心優さん

書名「**52ヘルツのクジラたち**」 町田そのこ・著 (中央公論新社)

膨大な読書量を誇る「読書クイーン」はこの本で勝負!世界で一頭しかいない52ヘルツで鳴くクジラ。その声は誰にも聞こえないし、届かない。そんな叫びを上げている人はいっぱいいるだろう。私もそんな声に耳を傾けられるような人になりたい。



第4バトラー 3A 望月 虎太郎さん

書名「**なぜか、いつも夫は他人ゴト**」 ザビエル・著

(サンクチュアリ出版)

「突然ですが、みなさんはお父さんやお母さんのトラブルで困っている人はいませんか?」そんなお悩みに答えてくれるのがこの本!「夫・あるある」についてユニークな寸劇を交えながら紹介。隆一先生や彩伽先生にもお勧めしたい本だと思います。